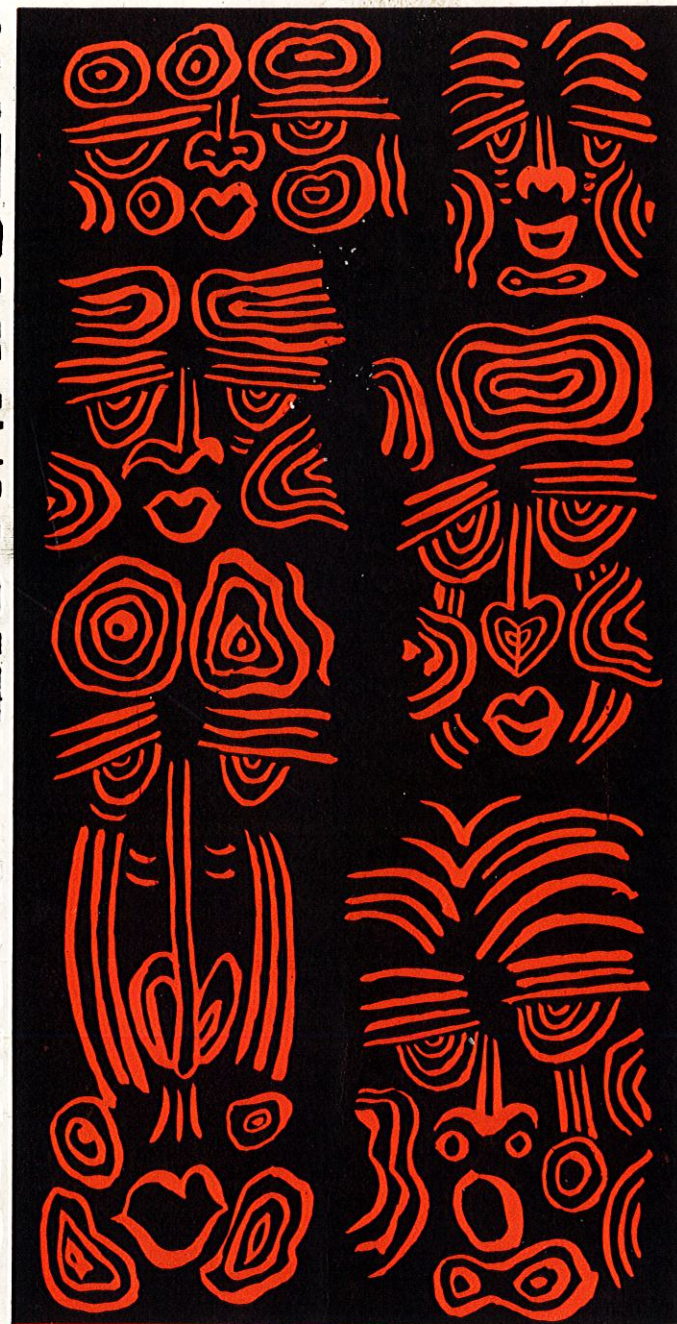


東西四大合唱演奏会

20回

DOSHISHA KEIO KWANSEI W



ASEDA DOSHISHA KEIO KWA



ワイーク・エンドにハワイへ飛ぼう

きらめく太陽の6日間 147,000円

月つき3,000円 お小遣いで行けるハワイ
貿易風を帆にはらんだヨットでサンゴ礁の海に乗りだしませんか。サーフィンも練習してみましょう。ワイキキの浜で泳ぎつかれたらパインジュースとラム酒のしゃれたカクテルをどうぞ。破格の安い費用で行けるジャルパックJOYハワイ。1/6の頭金で行ける日航トラベロンもご利用ください。

ハワイ6日間アロハ・コース……147,000円
ハワイ6日間リーフ・コース……173,000円
ハワイ6日間アイランダー・コース……195,000円
*どのコースも毎週1回以上出発します。

海外旅行の第一歩は資料の請求から
クーポンを審査にはり氏名・住所・年齢・職業・電話番号・出発希望日をご記入のうえ 〒100-91 東京中央郵便局私書箱205号 日本航空メールボックスへ。早速、詳しいパンフレットをお送りいたします。

太平洋を飛ぶ
最も便利な航空会社

 **JOY**
ハワイ

日本航空

クーポン
4大学合唱プロ

第 20 回

東西四大学合唱演奏会

1971

6月26日(土) 6:30 p.m.

6月27日(日) 1:30 p.m.

東京文化会館大ホール

主催 東西四大学合唱連盟

ご 挨 拶

本日は御多忙中を、私達東西四大学合唱演奏会においで下さいましてありがとうございます。

私達は、1952年の第1回演奏会以来、幾多の困難を乗り越え克服して、本日、20回目の演奏会を迎えることになりました。これも皆様方の暖い御支援の賜物と深く感謝しております。

遠隔の四校が一堂に会して演奏会を催すことは大変意義深いことであり、単なる発表の場として終ることなく、相互の刺激と励ましとよっての切磋琢磨を通して、高度な合唱精神、合唱技術を身につけ一層の発展を得るとともに、少しでも日本の合唱音楽の向上に役立てばと考えております。

最後にこの演奏会を開催するに当たり、御援助、御指導下さいました諸先生、関係者の皆様に厚く御礼申し上げるとともに、今後ともよろしく御鞭撻下さいますようお願い致します。

東西四大学合唱連盟

担当マネジャー

前	田	憲	一	(同志社)			
国	府	田	敬	二	郎	(慶	応)
立	石	文	雄	(慶	応)		
藤	本	文	男	(関	学)		
熊	谷	恒	人	(早	稲	田)	



(飯島舞台写真研究所撮影)

MESSAGE

同志社グリークラブ顧問

遠藤 彰

第20回、東西四大学合唱演奏会が開かれますこと、心より喜びます。また、遠隔の地にある早稲田、慶応義塾、関西学院、同志社の四大学が、第一回演奏会以来、回を追ってその充実につとめている姿を見るにつけその努力と情熱に心から敬意を表します。

この伝統ある四大学の若人のみごとな音楽は、本当に皆様の心を酔わせるものと思われま

す。今後とも、それぞれの伝統にさらに磨きをかけ、合唱団の充実につとめこの意義ある四大学合唱演奏会を末永く発展させていただきたく心から願っております。

本日の演奏会開催にあたりまして、ご尽力下さいました諸先輩、関係各位ならびに、ご来場の皆様に厚く御礼申し上げます。

慶応義塾ワグネル・

ソサィエティー男声合唱団部長

千種 義人

第20回東西大学合唱演奏会を迎えたことを、心からお喜びしたい。

わがアマチュア合唱界を代表する慶応義塾、早稲田、関西学院、同志社の四大学が、毎年一度、日頃養ったそれぞれの力を持って演奏会を開くことは非常に意義深いことである。昭和27年9月に京都、大阪において第1回の演奏会が開かれて以来、回を重ねるごとにその実力を向上させ、20年にわたって成長してきた。これを可能ならしめたのは、その時々

の学生諸君によって音楽に捧げられた情熱であろう。音楽に対するものは、単にこれを楽しむだけではなく、これを進歩させ、かつまた、これを通じて人間自身をも高揚させなければならない。相異なった環境にある東西四大学の学生諸君が、日頃の練習の成果を交歓し合い、お互いに切磋琢磨し合うことは、今後のクラブ活動の上に、プラスになるだけではなく、ステージに立つ学生諸君一人一人の上にも大きな実りがあるはずである。合唱による芸術追求は容易ではない。しかしこの険しい道を全人的な真摯な態度と意気を持って歩まなければならない。

本日の演奏会にあたり、御尽力下さった先生方、関係各位、並びに御来場の皆様に厚く御礼を申し上げる。

MESSAGE

関西学院グリークラブ顧問

片山 正直

慶応、早稲田、同志社、関学の四大学が一堂に会してその高い合唱技術の成果を発表し合うようになってから早くも20回目の記念すべき演奏会を開催できますことを心よりお喜び申し上げます。

関東と関西という地理的なハンディにも拘らず、この四大学は過去19年の永きにわたり、それぞれの最も主要な行事の一つとして、万難を排してこの東西四大学合唱演奏会を続けて来たのであります。そして常にアマチュア合唱界をリードする四大学の合同演奏会として注目を集め期待に応えて来ました。今回もまた四大学の若人達のみごとなハーモニーとメロディーとリズムがきっと皆様の心を酔わせるに違いありません。20歳を迎えたこの“四連”も今では合唱界に確固たる位置を占め、ますます重要な演奏会となって来ており、学生諸君の意気込みもしっかりした大人のものになっております。どうか、第20演奏会を契機にますますこの活動が隆盛になり、そしてこの活動を通して豊かで潤いのある人間形成に努められんことを期待するものであります。

最後に、この演奏会を続けてくるにあたり様々な方面でご尽力下さった先生方、諸先輩、関係各位並に御来場の皆様に深く御礼申し上げますと共に、これからも暖く見守って下さいますようお願い致します。

4大学合唱演奏会に寄せて

学生合唱団のむずかしさ、おもしろさもそれがたえず流動しているところにあるからだといえるのではないだろうか。1年たてば必ず最上級生は去り、新入生が入ってくる。こういうたえず動いているグループにある一定の水準を保って行くことは容易なことではない。むしろ一定の水準が保たれていることが不思議なくらいで、ちょっとした油断で水準は目に見えて下ってしまうものである。あるいはちょっとした心の油断がいつの間にか水準を下げってしまう。一定の水準を保ちながら、しかもそこに先輩達ののこして行った伝統を加えて行くのだから大変である。ほかでもない合唱に参加する部員一人ひとりの努力であり、若さであり、明るさであるのだ。今年もまた4大学合唱連盟の合同演奏会の時期が廻ってきた。それぞれの大学が過去一年の成果をどう問おうとしているのか。たのしみな演奏会である。

早稲田大学グリークラブ会長

五十嵐 新次郎

PROGRAM

エール交歓

同志社大学
慶応義塾大学
関西学院大学
早稲田大学



第 I 部

同志社グリークラブ

Messe Solennelle de Sainte Cebile

Kyrie
Gloria
Offertory
Credo

指揮 宇宿 允 人
ヴィエール室内オーケストラ

作曲 Charles Gounod
編曲 福永 陽一郎



慶応義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

コダーイ合唱曲集

JELENTI MAGÁT JÉZUS Népdal
RABHAZÁNAK FIA Petöfi Sándor (1844)
FÖLSZÁLLOTT A PÁVA Ady Endre
KIT KÉNE ELVENNI Szé kely népdal
KARÁDI NÖTÁK Népdalok után

指揮 木 下 保

作曲 Zoltán Kodály

Intermission

PROGRAM

第 II 部

関西学院グリークラブ

Seven Beatles Numbers

Day Tripper
Here There and Everywhere
Girl
Ob-la-di, Ob-la-da
Michelle
Eleanor Rigby
Yesterday

指揮 北 村 協 一

作詩 John Lennon

作曲 Paul McCartney

編曲 宮 島 将 郎

伴奏 塚 田 佳 男



早稲田大学グリークラブ

Missa O Magnum Mysterium

Kyrie
Gloria
Credo
Sanctus
Benedictus
Agnus Dei

指揮 濱 田 徳 昭

作曲 Victoria

編曲 皆 川 達 夫



第 III 部

合同演奏

Hymne An Die Musik

指揮 木 下 保

作曲 Lauchner

© 26日（土）は第Ⅰ部と第Ⅱ部を入れ替え。尚、第Ⅲ部はそのまま演奏いたします。

Messe Solennelle de Sainte Cecile

Charles Gounod (1818～1893) は、フランスオペラ史上の不朽の名作「ファウスト」によって広く世に知られているが、宗教的作品にも、数多くの名曲を残している。そのミサ曲は18曲にも及ぶが、中でも著名なのは1855年の「聖チェチリアのための荘厳ミサ」と1852～1860年の間に作曲された「第2男声ミサ」であろう。題名の St. Cecilia は、音楽の守護神で、ローマ殉教者の聖女の中では、もっとも有名な一人である。彼女が潔白の徳に殉教の冠をあわせいただいたのは三世紀末のことで、殉教の日は9月16日とされているが、古くからローマのテベレ川の西岸にあるこの聖女の家の上に建てらた聖堂奉獻の日の11月22日が祝日とされている。このミサ曲はこうした背景のもとに生まれたミサで、聖霊降臨祭の日曜日と万霊節の日曜日に奏される習慣となっている。

グノーの音楽は、シューケ G. chouquetの言葉をかりなら「Voluptuousness (官能) と Mysticism (神秘)」という二元的な性向の融合によって実現されたものであり、劇音楽と宗教音楽とは、その二つの異なった結実^①に他ならなかったように思われる。(宗教的信仰と劇的抒情性が、彼の本質にある、二つのテッセンスであるという意味において) このミサ曲においても、単なる形式的な教会音楽の域をこえた、いわば「劇的宗教的音楽 dramatic-religions music」^②ともいべき性格で、グノー自らこれを「フレスコ画のスタイルによる音楽」とよんでいるのは興味深い。ともあれここに、グノーの最も純粋な刻印があり、19世紀中葉のフランス音楽の最も真摯な一ページを見いだすことは少しも困難ではない。このミサ曲では、従来の教会音楽の習慣に反して、対位法的手法がほとんど見られず、華麗で透明なホモフォニーによって一貫している点も留意すべきであろう。

なお、この曲は本来混声合唱のミサ曲であるが、有名な男声合唱のミサ曲と言えば A. Duhaupas の「荘厳ミサ」か C. Gounod 「第2男声ミサ」ぐらいのものであって、男声合唱のミサ曲のレパートリーを拡げようという意図から、福永陽一郎が男声合唱用として編曲したものである。

ミサ通常文は Kyrie, Gloria, Credo, Sanctius, Benedictus, Agnus Dei で構成されている。

- Kyrie** 主なる神とキリストに憐みを乞う祈り。
- Gloria** 三位一体の神を讃美しており、キリスト降誕のとき、天使の唱う詞いと高きところでは神に栄光があるように、地上では御心にかなう人々に平和があるように(ルカ伝2章13節)より歌い始められてい。
- Credo** 神と、人の救いに関する事を全て信ずると告白するのがこの部分の内容で「使徒信経」最初のユニゾンにより唯一の神を信ぜる事が厳かに歌われ、曲が始まる。

＝ コダーイ合唱曲集 ＝

ゾルターン・コダーイ (Zoltán Kdály, 1882～1967) は、ペーラ・バルトーク (Ééla Bartok, 1881～1945) と並んで、近代ハンガリーの生んだ偉大な芸術家である。彼らの出現につて、ハンガリー音楽に決定的変化が起った。すなわち、1900年頃のロマン主義やヨーロッパ音楽の潮流から離れて、それ以前の偉大なヨーロッパ音楽の、きびしくて壮大な作品の中に範を求めねばならないことに早くから気づいていた二人は、同時に、ハンガリーの土地に古代ハンガリーの民族音楽が、完全に成熟した形で、伝統として継承されていることを発見したのである。失なわれた大陸や未知の自然現象のように、彼らは民族音楽の最も古くて最も確かな源流を発見し、その源流の中に未知のユーラシアの遺産、すなわちマジャール人の最古でしかも、最も普遍的な財宝を見いだしたのである。彼らは民衆の文化の中にこそ、音楽的発展の根元的なものがあると考えていたから、この民衆の音楽文化の素材を用いて、多彩で普遍的な音楽語法を創り上げ、多様で、時には相互に矛盾するような方法をとっても、同じ密度と高さでその内容を表現しえているのである。彼らの芸術は大衆芸術ではなく、それをはるかに超えたものであった。それは、民衆の最も深い、根元をふまえた個人の芸術的表明であり、真に創造的な力の現われであった。これらの作品はもちろんハンガリーの民衆の、すべての偉大な歴史的伝統に結びついているのである。さて、ハンガリー人が、今日のハンガリー領に定着したのは、9世紀の終りであった。彼らの発生地は、ウラル山脈の地域であり以後何世紀にもわたる民族移動の後によりやく現在の住地にたどりついた一種の民族的孤児である。ハンガリー(マジャール)民族は他の東欧諸国とも異質の、独特の激情的な民族意識の奥にはこういう民族的な孤独感があることを忘れてはなるまい。ハンガリーの音楽学では、最初からそうであったが、特に20世紀になってからは、ハンガリーの民族音楽の中に、ハンガリー人の東方起源の証拠を探ることに強い関心を示してきた。最も古いハンガリー民謡(五音音階、ペンタコード・スタイル)の中に、トルコ・モンゴル系や、フィノ・ウグリア系の伝統が見受けられるが、しかし、これらの要素は時代が経過しているために今ではあるはっきりしに民族的、言語的グループに結びつけることはできなくなっている。

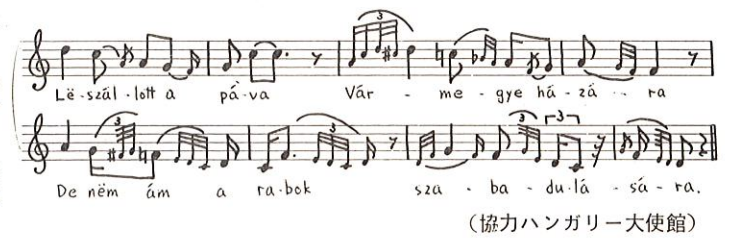
コダーイの合唱曲は古い民謡を素材としたものが多く、今回我々が歌う5曲もそうした作品である。第1曲は宗教的色彩が強い。イエス・キリストは1年のうち、クリスマス、イースター、聖霊降臨祭の3回だけ現われる。という内容である。ともすれば行進曲風になりがちなメロディーを、我々はできるだけレガートに歌う。

第2曲は革命の歌である。1848年、フランス革命に刺激され勃発したハンガリー独立戦争の闘士であり、同時にハンガリー最大の詩人であったペテーフィ・シャーンドル(Petőfi Sándor)の作詩による。内で激しく燃える民衆の革命の心を歌ったものである。

第3曲も革命的色彩をもつが、下記のような古い民謡を母体に、アディ・エンドレ(Ady Endre)という詩人が作詞したものである。市民議会場に孔雀(伝説の鳥)が飛んで来て、ハンガリーに自由をもたらし、新しい国が誕生するという内容である。

第4曲、第5曲は文字通りの民謡で、前者は結婚適期の男のお嫁さん選び、後者はコミカルな話をいくつもつなげた形になっている。

一般にハンガリーの民謡は、非常に日本のそれと共通点が多く、よく似ている。リズム、音階、あいの手など、日本人以外の他民族ではわからない独特の味があるのである。



コダーイ男声合唱曲集を演奏するにあたって

木 下 保

私の今回コダーイを取り上げたその狙いは、直接音楽とは結びつかないかも知れないが、ハンガリーと日本との共通性といったところである。周知の通りハンガリー人はヨーロッパに属しながらも人種的には蒙古系に属し、その言語・音の感じ方は日本人と非常に似ている。その歴史は日本と対称的に長い間に幾度も外敵の侵略を受け、そのうちヨーロッパの多くの民族の雑種の様になったが、精神的には外からの侵略にもかかわらず古来日本人と似かよったところがある。これは私が実際ハンガリーに行った時に感じた事であり、私はハンガリー語が全く分らないのにもかかわらず、耳から入ったハンガリー語の感覚が日本語と非常に似ているものである事に気付き昔から大変興味を持っていた。

ハンガリーの歴史の中でコダーイの生きた時代混乱期の真さい中であり、その中でコダーイ・バルトークなどは民族的な意味からも、民謡の収集を計り、バルトークが芸術的面のみにそれらの民謡をとらえたのに対し、コダーイは芸術プラス教育という面から、すなわち偉大な音楽教育者であった。わが国ではハンガリーを第3者的に見るので、一般的な芸術的評価という点ではバルトークの方を買う傾向があるが、ハンガリー大衆ではむしろバルトークよりコダーイの方が買われている。私は純粋な芸術的見地からもコダーイはバルトーク程鋭くはないが、それだけに広さとか、健康的、民族的、国家的であると思えている。

以上の事より考えてみると、現在コダーイの存在というのは将来の日本の音楽や文化、国学を伸ばして行くのに非常に参考になる。というのは日本は日本独特の音楽を持ちながら、当然に明治になり欧米の音楽を取り入れ今日に至っているものであるが、現在ではそれが混沌としている感じがする。たとえば非常にドイツ的であったりフランス的、イタリア的であったり、その意味からも国の混乱、文化の混乱期に民謡の収集を計り、音楽教育の面で「コダーイメソッド」を作り出し、ハンガリーの将来の行く道を示したコダーイの存在は、我々の将来の模範を示している様な気がする。従って、コダーイの音楽の評価が将来どの様に評価を受けるかわからないが日本の将来の良い指針になると思い、私はかねがねワグネルでコダーイを取り上げなくてはと思っており、そして今回学生からの要望に大賛成したわけである。

以上述べた様に私はハンガリー語は全んどわからないし、しかしコダーイの音楽の音楽学的側面は別として、感覚的にコダーイの音楽や狙っているところが大体分る様な気がしたし、2～3回の練習で学生諸君が何の抵抗もなく歌っているのを見てますます自信を深めた。その意味から自分としてこの曲の仕上がりを楽しみにしているところであり、演奏会終了後、各方面からの批判を聞き、それを今後への反省の具にしたいと願っている次第である。

受けて重宝 三越の商品券



「お祝い」や「贈りもの」に
どなたにもおよろこびいただける
三越の商品券
10,000円券まで各種
全国本・支店共通



日本橋本店・銀座・新宿・池袋・丸の内(以上東京)大阪・京都・神戸・高松・松山・仙台・札幌 各支店

Seven Beatles Numbers

■ Seven Beatles Numbers

「Let it be」を最後に、はなやかな生涯(?)を終えたビートルズ。彼らのふりまいた話題はあまりにも多いようです。ジョン・レノン(作詩)、ポール・マッカートニー(作曲)の組合せで、数多くの名曲を残しましたが、曲想はたいへんバラエティに富んでいます。それらの中から代表的な作品7曲を選んでみました。4名で演奏されたものを男声四部合唱に編曲し、チェンバロを加えて30余名でまとめようという試み。私達の意気の一片でも感じとって頂ければ幸いです。

Here There and Everywhere

僕には愛が必要だ
すばらしい人生のために
愛は僕の一日一日を創造する
彼女は僕に手を振る
その愛が僕の人生を変えてゆく
誰もが知っている
愛には何かがあるということを
彼女の髪を僕はやさしくなでる
僕達二人は考えるその愛のすばらしさを
誰かの声がする
でも彼女にはわからない
僕は片時も彼女と離れたくない
僕は何もいらない、彼女さえいれば
彼女を愛するということは
彼女といつも一緒にいることだ
僕にはわかっている
愛は二人のものだということを
誰もが信じている
愛の不滅を
彼女の瞳を見つめ僕は願う
僕が彼女の瞳から消えないことを
そこにも、どこにも僕がいることを
ここにも、そこにも、どこにも

Girl

誰が僕の話聴いてくれよ
僕のところへ遊びにやってきた女の子の話を
彼女はね、みんなが悲しくなる程
好きになる女の子なんだ
でも誰だって後悔したりしないよ
僕が彼女にかまわないでいようとすると
いつも僕のところにやってきて泣き出すんだ
そして彼女は僕に約束するんだ
もう絶対泣かないって
そして僕は彼女を信じちゃうんだ
でも後でどうして彼女を信じたか
僕にはわからなくなるんだ
彼女は人をだめにしてしまう女の子なんだ
友達がいる時はばからしくなるよ

みんなが彼女にきれいだって言うとな
彼女は当然っていう顔をするんだ
ああ彼女は全くつめたいよ
彼女は小さい時、苦あれば楽ありってことを
教わったろうか
男というものは楽しい日のために
骨おって働くのさと人が言った時
それがどんなことかわかったろうか
彼女はその男が死んでも信じるだろうか
そのことを

Ob-la-di, Ob-la-da

デスモンドは市場に手押車を持っている
モリイは楽団の歌手
デモンドはモリイに打ち明ける
「ねえ、僕好きなんだ、君のこと」
デスモンドの手をとりモリイは語る
二人の世界を
オブラディ オブラダ
二人の世界
ブラーラ
数年が過ぎ去り
デスモンドとモリイは家庭を築いた
なごやかな家庭を
二人の子供は庭ではしゃいでいる
さあ愉快に生きたいなら
オブラディ ブラーラ

Michelle

ミッシェル 僕の恋人
二つの言葉 それは一つ
僕のミッシェル

君が君が君が好きなんだ
今の僕にはこの言葉だけなんだ
僕は言わない
君にわからない言葉なんか

ミッシェル僕の恋人
二つの言葉それは一つ
君に君に君にわかってほしい
ああ僕のミッシェル
君が僕にとって何であるかを
君への愛が何であるかを
わかってくれるまで
僕は待ち望もう

君が君が君がほしい
もうわかっているだろう君には
きつと行く 僕は君のもとへ
それまで僕は言い続ける
君にわかってもらえるまで

ミッシェル 僕の恋人
二つの言葉 それは一つ

僕は言わない
君にわからない言葉なんか

Eleanor Rigby

ああ 孤独な人々を見よ
結婚式の済んだ教会で米を拾う
エリーナ・リグビー
夢の中で生活している
偽りの顔をみせて
窓辺で待っている
誰のために

ああ 孤独な人々を見よ
説教文を書く
マッケンジー神父
誰も耳をかさないような説教文を
そばに寄る者は誰もいない

見よ彼の姿を
誰もいない夜だというのに
自分の運命をのしり
仕事をする彼の姿を
何を悩んでいるのだろう

エリーナ・リグビー
その名を残し教会で永遠の眠りについた
たった一人で
マッケンジー神父
エリーナの墓から戻り
手のよぐれを払った
救われた者は誰もいない

Yesterday

昨日、はるか遠い存在に思われた私の悩み
今、その悩みは存在すべく
ここにあるかのように
ああ私は信じたい、昨日を
突然私は昔と違った自分となる
暗い影が私をつつんでいる
ああ昨日は突然やってきた
なぜ彼女は去らなければならなかったのか
私にはわからない
彼女は言おうとしなかった
彼女に何か悪いことを
言ってしまったのだろうか
ああ昨日がなつかしい
昨日の愛は
何とやさしい遊戯であったのだろうか
今私は身を隠したい
ああ私は信じたい
昨日を

Missa O Magnum Mysterium

16世紀は、スペインにとっては「黄金の世紀」とも呼ばれる、輝やかしい時代であった。国王カルロス1世 Carlos I (在位1516～1556)、その子フェリペ2世 Felipe II (在位1556～1598)のもとで国力は充実し、世界の海上を制覇していた。また16世紀前半におこった宗教改革に対しては、スペインは、トリエント宗教会議(1545～1563)に端を発した反宗教改革の、強力な推進者であった。芸術の面でも活気を呈し、セルバンテス Cervantes (1547頃～1616)や、画家エル・グレコ El Greco (1545～1614)をはじめ、絵画、文学、演劇、そして音楽など諸分野で、多くのすぐれた人物が輩出した。

トマス・ルイス・デ・ビクトリア Tomás Luis de Victoriaは、そのスペインの中央部にある町アビラ Ávila に、1548年頃生まれた。彼は少年時代の音楽教育を、アビラの司教座聖堂で受け、またその少年聖歌隊員として活躍した。1565年頃、ローマ Romaに行き、そのコレギウム・ゲルマニクム Collegium Germanicumに入学した。ここはイエズス会の神学校であるが、同じイエズス会のローマ神学校の楽長をしていたパレストリーナ Palestrina (1525頃～1594)から、彼は多くの影響を受けた。1571年には、パレストリーナの後任としてローマ神学校の楽長となった。1573年、母校のコレギウム・ゲルマニクムの楽長に就任した。1575年には司祭に任ぜられている。その後スペインに帰り、1587年から、皇帝マクシミリアン2世 Maximiliao II (在位1564|1576)の末亡人であり、カルロス1世(皇帝カール5世 Karl V)の娘である皇太后マリア Maria (1528～1603)に、マドリッド Madridにあるデスカルサス・デ・サンタ・クララ修道院の楽長および司祭として仕えた。彼女の死に際しては有名なレクイエムを作曲した。皇太后の死後は、その娘マルガレーテ Margarete に仕え、のちにそのオルガニストにもなり、余生をずっとそこですごした。1611年8月27日、彼はマドリッドのその修道院で没した。

ビクトリアは多数の作品を残したが、そのすべてが宗教曲であり、世俗曲は1曲もない。20曲のミサMissa, 44曲のモテトゥス Motetusをはじめ、マニフィカートMagnificat、聖週間、聖務日課集 Officium Hebdomadae Sanctae、イムヌス Hymnus、アンティフォナ Antiphona など、様々な曲を作っている。その作品は、伝統的なフランドル楽派のポリフォニー技法にさええられてはいるが、神秘的な激しさや情熱が注がれ、不協和音などを巧みに使用したりしながら、同時代人エル・グレコの絵画に見られるような、熱っぽい気分をかもし出している。そこにはスペイン人であるビクトリアの、一生をキリスト教にささげた情熱が、ひしひしと感じられ、一種のマニエリスムの方向を示している。

「ミサ・オー・マーニウム・ミステリウム Missa O Magnum Mysterium」は、1592年に出版された4声の曲で、ビクトリア自身の同名のモテトゥスに基づいた、パロディー・ミサ曲 Missa Parodia である。パロディ・ミサ曲というのは、自分または他人が作曲したモテトゥス、シャンソン、マドリガーレ等のポリフォニ作品を素材として、ミサ曲に作り直したものである。15世紀の後半から16世紀にかけては、一定の旋律を素材にした、定旋律 Cantus Firmus ミサ曲が多く作られていたが、16世紀も後半になると、このパロディー・ミサ曲が盛んに作られるようになった。例えば16世紀後半の大作曲パレストリーナは、自作のミサ曲の約半数の50曲ほどを、この手法で作曲している。

モテトゥス「オー・マーニウム・ミステリウム(おお、大いなる神秘)」(1572)は、キリスト降誕の祝日(クリスマス)の第2夜課に唱えられる言葉に基づく4声の曲で、全体がポリフォニックに動き、時々重厚なホモフォニーが用いられ、リズムも全体が4拍子系であるが、途中3拍子系がはいり、大変化に富む美しい曲である。ミサ曲、はこのモテトゥスの音型を巧みに用いて、作り直したものである。第1 Kyrieの冒頭は、モテトゥスの O magnum mysteriumから、Ghristeの冒頭は Ut animaliaから、第2 kyrieの冒頭は Jacentem in praesepio から、Gloriaの冒頭は viderent Dominumから、という具合に、元のモテトゥスの旋律が借用されている。こうしてミサ曲全体巧みに作り変えられているわけである。

このミサ曲、は本来 Cantus, Altus, Tenor, Bassusはのために書かれているが、本日は、皆川達夫氏の男声合唱編曲で演奏される。

早大学院文学研究科在

早大グリーOB 今 谷 和 徳

合 唱 の 世 界

濱 田 徳 昭

合唱はたんなる楽しみのためにあるのだろうか。多勢の中にあって大きな声を出すことは、たしかに快感につらなるであろう。美しい旋律に加えて、ハモれば、なおさらのことと思う。俗にいう不満のひとつの解決手段としても有効と思える。しかし、こうしたいわば本能的快感といえるあり方が合唱の目的であるならば、まことに悲しい。あたかも、ボーリングに興ずるのと共通の性格をみせるからである。その姿勢を悪いとは思わないし、生理的といえる。こうした心地よさを否定するものではない。だが、あまりにもったいないと思う。なぜなら、この分野のもたらす糧は、はるかに実り多いと信ずるためである。最近、メンバーに語りかけていることは、『このグループに加わると、苦しみのみ多く、報い少ないかもしれない。たしかに、人間はそれぞれ悩みを負っていて、気持の晴れることばかりではないし、常に賢く振舞うのもしんどい。物事をすべて割り切って処理できないのがわれわれの心なのである。

あなたが、もし、音楽の世界に「なにかある」と感ずるならば、それを真正面から見すえて貰いたい。その結果、苦しい道程を歩むことになっても、良薬口に苦しの譬えを引き合いに出すまでなく、自らの心に必要と思うならば、諦めずにひたすら突き進んで欲しい。影も形もみえない相手に対し、ときにとらえどころのない焦燥を感ずるであろうが、素晴らしい宝庫であることを忘れないで貰いたい。ただし、そこから何をを得るかは自らの姿勢による。あなたが、真に感ずる心の持ち主ならば、5年後か10年後かに、一生の危機を支えるほどの力を得ることになる。しかし、それまでは、完璧を目指すも不完全に終ることを覚悟すべきでであろう』

以上のような内容だがわれわれが、時間と精力を投入し、経済的負担に耐えて、貴重なエネルギーをそこに振り向けるからには、相応の相手でなければならない。それは、本物で、汲めども尽きぬ糧を湛えているものでありたい。音符がひと通り並んでいれば、もっともらしい声を羅列するに不都合はないし、たやすく歌えるものを、楽しく練習して、余暇(ノ)を愉快地に過したいというお手軽主義も、世相にそった合理的な考え方であるが冷、暖房完備の部屋にぬくぬくと暮す萌(もやし)のような人間になりたいと願うに似て、前途有為の人がそれでよい筈はない。私は合唱をたんに歌の世界のものとしてとらえることができない。過不足ない栄養を毎日摂取するように、心にも栄養が不可欠と思う人に、精神の糧として薦めたい。そのかわり、長期に亘って継続するのだから駄目である。大学時代(あるいは、高校から大学にかけて)に熱意をみせながら、卒業後、音楽から遠い生活を送る人を信頼しない。それは、直実をとらえていないと感ずるためである。

これまで、バード・パレスリーナ・ビットリアのア・カペラの合唱音楽を追ってきたのは以上の理由による。これらの作品は、音符を音にただけではどうにもならない。即ち、バードをいかに歌ったかが問題なのである。次回に何を歌うか迷うことなく、確実に一筋の道を辿りつくとすると実感できるのは、なによりの喜びと思う。道は遠く険しいが、皆様の御鞭撻をお願い申し上げます。

曲 目 解 説 合同 演 奏

Hymne An Die Musik

O Kunst, du heiligen tempel
der Welt, an deinen stufen
knien die Meister,
und falten die Hände
des Lorbeers grünende zweige
schlingen um deine Säulen sich
und ranken die Blätter
um jegliches Haupt Musik ertönt,
Der heilige Klang der Orgel braust,
und die Posaunen erschallen,
Balt klagt es leise balt leise
wie Fläten hauch den Sternen zu,
balt stürmen und rauschen,
auf brausen die Klänge mit Donner gewalt
und das Measchen herz lauscht
den heiligen Tönen
und aus den Augen riselt der Tränen guell
dann richtet es hoffend,
sich wieder empor zu
himmlischen Fernen hinan
Das hat Musik getan,
die gottlich Kunst Musik

音 楽 へ の 讃 歌

おお芸術よ、聖なる神殿よ
その世界よ
主人は階段にひざまづき
手を組み合わせる
すると月桂樹の緑の小枝は
円柱に巻きつき
こずえには葉がつるを伸ばし
音楽をかなでる
神聖なオルガンの音
そしてトロンボーンが響き渡る……
やがてそれは嘆きの声を上げ
弱く消えゆく、そして星空に
フルートの微かな音が流れざわめき
突進し、雷の力と共に荒れつめた
すると人の心は神聖な者に
ためらい
涙は泉のように目にあふれた
そして祈りをこめて
天を仰いだ
音楽は神のかたに登って
いった
素晴らしい芸術、音楽は

合同演奏にあたって

私はかねがね4連の合同演奏を聞いて、このところ4邦人作品が多く取り上げられているが、それはそれで大変結構ではあるが、我々が日本をもっと良く知るとい意味においても、我々の目をもっとヨーロッパに向けヨーロッパの音楽・文化をとことんまで求明しなければならないと私は思っている。

「木下保」とすぐ「やまとことば」と結びつけられ私は大変迷惑しているが、今回の4連の合同でラアホナーを取り上げたのは、それへの一つの抵抗の意味もあるが、われわれはまだヨーロッパの深淵な歴史・文化について勉強し尽くした訳でもなく、音の扱い方、組み合わせなどは、まだまだヨーロッパに学ばなければならないところがあると思ったからである。ここしばらくの合同演奏を見ると、その種のオーソドックスな曲が取り上げられていない様な気がする。私は今回チャンスがあれば、この種のガッチリした音楽を取り上げようと思っていた。そして今回合同指揮の要請を受けた時、私は過去に取り上げ作品のむし返しでも良いから、立派な作品を取り上げ様と思い、ラアホナーの『HYMNE AN DIE MUSIK』を取り上げた。

ラアホナーは作曲家としてはあまり有名ではないが、男声合唱をたくさん書いており、この「HYMNE AN DIE MUSIK」は、独創的であるか否かは別として、出来上ったものは非常にオーソドックスであり、そのテキストは、学生が一生懸命に歌い、そして学生の狙っている話があるまま続いており、あらゆるフレーズや言葉一つ一つが学生にとって重みのあるものとなる様に出来ている。合同演奏には練習時間の制約があり、どの程度まで掘り下げられるか、学生諸君が受け止める事が出来るか多少不安が残るが、私は学生がこの音楽や一つ一つに触れる事だけでも大変意味のある事と思っている。「Hymne」というのは和訳では讃歌であるが、より神格化した意味があり、そしてラアホナーはこれを構成的にも、メロディー・ハーモニーの上でも、非常にオーソドックスで雄大な曲に仕上げた。そして言葉一つ一つがわかり易く、しかも大きな意味を持っており、私としては歌う学生諸君一人一人がその言の一つ一つを感じてもらえば十分であると思っている。

PROFILE

同志社グリークラブ指揮者 宇 宿 允 人

昭和32年、東京芸術大学器学科卒業、ただちに近衛管弦楽団に首席トロンボーン奏者として入団。翌33年NHK交響楽団に入団、首席トロンボーン奏者として43年まで活躍。その間、近衛秀磨氏に師事、指揮法を学ぶ。N響及びABC交響楽団特別演奏会ならびに労音主催のベートーベン第9、その他数多くの指揮を行う。昭和43年1月渡米。ニューヨーク・フィルでバーンスタイン他、多くの音楽家と交流を持ち、研修の後、帰国。同時に大阪フィルハーモニーの指揮者に就任した。昨年10月大阪フィル定期演奏会のベートーベン・ミサ・ソレムニスの指揮に対して、大阪文化祭賞を受賞。



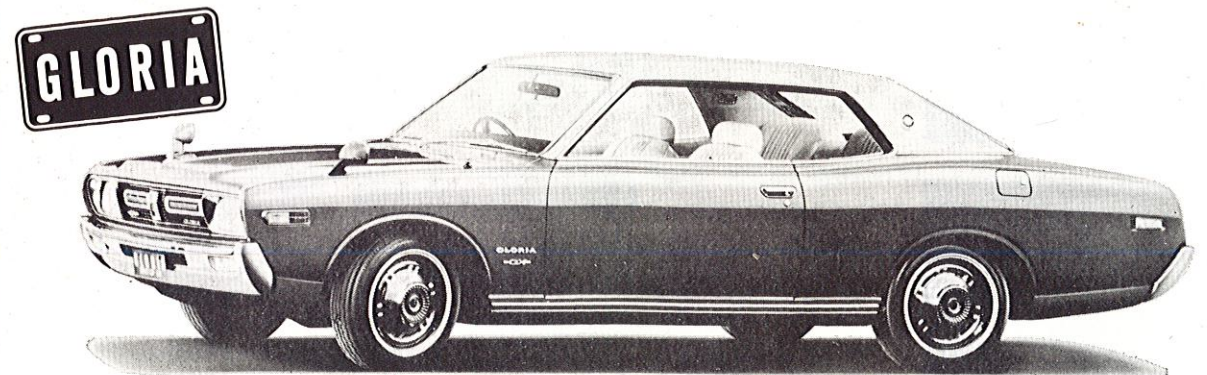
ヴィエール室内オーケストラ

昨年の夏、弦楽アンサンブルを通じて音楽を勉強したいという志を持ったものが集り、指揮者に宇宿允人氏を迎えて発足。その幾、度かの合宿を持つ等、アンサンブルの強化の為につとめる。昨年十二月の大阪クラブでの演奏をはじめ、1月、3月には大阪で、亦5月には東京にて定期演奏会をひらく。他方、ヤマハ及び三木楽器店にてサロン音楽会をひらき、室内楽の分野でのユニークな活動をひろめている。尚、5月12日、東京にて、6月18日神戸にて第3回、第4回、定期演奏会を行なった。

小さなタメ息が生まれる

大きなグロリア登場。

1970年代の後半をイメージするクルマの登場「大きさの哲学」が生んだすばらしい「グロリアの変身」です



ニッサン グロリア ハードトップ GX



日産スリンス東京販売株式会社

東京都港区三田3丁目5番28号 TEL (453) 1571 (大代)



慶応義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団指揮者 木下 保

明治36年10月14日兵庫県豊岡に生れる。大正15年、東京音楽学校を卒業。昭和3年同校研究科を修了される。在学中は、ネトク・レーヴェ氏に師事された。昭和8年から10年まで、ドイツ、イタリアに留学され、ドイツではバイセルボン氏に師事された。帰国後は、母校の教授として教鞭をとられるかたわら、リート歌手として活躍された。辞任後はオペラにも進出され、「タンホイザー」、「ローエングリン」など、数多くオペラの初演を手がけられた。又「夕鶴」などに代表される日本の歌曲に対しての非常に卓越した解釈は、他の追従を許さない。現在では、洗足学園大学教授、大阪音楽大学講師として、又、東唱、日本女子大、聖心女子大など、プロ・アマの数々の著名な合唱団の指揮者として、文字通り東奔西走の御活躍をなさっている。ワグネルは先生が音楽学校在学中より30余年あまりお世話になっており、その御尽力により一昨年慶応義塾の名誉塾員になられた。

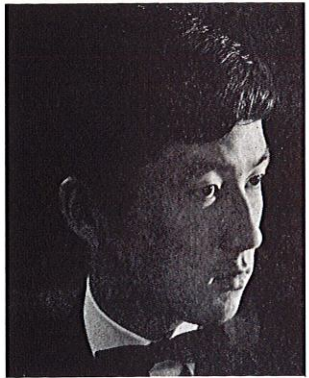
会場の拍手が終り指揮台に立たれた先生がゆっくり手を動かされたその瞬間から、ワグネルアン全員の心は、先生の音楽の中に吸収されてしまう。その大柄なお体とは対称的に、デリケートに動く指先や、ある時には、大きく振り下される先生の手を必死になって追い続けていると、不思議に、何の言葉もなしに、先生がわれわれに何を語りかけ、何を求められているかが体得出来る。妥協を排し、厳しさを要求される先生ではあるが、練習を終えると気軽に部員と話しをされ、今春は六大学野球での慶応の活躍の話に花が咲く事もありました。男らしく、そしてサッパリした性格の先生にワグネルアンは、音楽の面はもちろん、人生の先輩として真底から敬愛しています。この偉大な先生に指導を仰ぐ我々は、ワグネルにいる事の喜びをひしひしと感じます。



関西学院グリークラブ指揮者 北村 協一

昭和28年、関西学院大学経済学部卒業。在学中、関西学院グリークラブの指揮者として活躍。卒業後、東京コラリアーズ入団。昭和31年、同団の指揮者ルナ・アルモニコの指揮者等を経て、昭和36年、藤原歌劇団入団。合唱部クールプティエ専任指揮を務め、昭和38年6月、同団によるブッチニーニ「外套」を指揮、オペラ指揮者としてデビュー。昭和40年退団。東京コラリアーズ指揮者。グリークラブ渡米指揮者。畑中良輔、森正、今村征男の各氏に師事。二期会研修生講師。

現在、二期会合唱団常任指揮者。東京室内歌劇場指揮者。



関西学院チェンバロ奏者 塚田 佳男

昭和42年 東京芸術大学音楽部声楽卒業。

卒業後、ピアノ伴奏、合唱指揮に転向し、桐朋学園大学音楽部指揮科聴講生を経て、小林道夫氏に、ピアノ、及びピアノ伴奏法、チェンバロを師事、二期会において、オペラの稽古伴奏およびリサイタルの伴奏者として活躍。

現在、東京芸術大学オペラ科講師。

日本大学芸術学部音楽科講師。



早稲田大学グリークラブ指揮者 濱田 徳昭

《略歴》 昭和4年山口県に生まれ、6才より母親にヴァイオリンを学び始める。斉藤秀雄氏にチェロ及び指揮法を学び、諸井三郎氏に作曲法を学ぶ。1963年、イタリア政府の招聘で源欧、国立放送PAIやミラノ・テアトロ・ヌオーヴォのプレジデントに認められる。サンタチエチリーリア音楽院管弦楽団の定期演奏会をはじめ、ナポリ・スカラルラッティ管弦楽団、シチリア交響楽団等のオーケストラ、トリエステ市立歌劇場、ミラノ・テアトロ・ヌオーヴォの公演を指揮し成功をおさめる。

《プロフィール》 早大グリーは、ここ10年近く常任指揮者を置かず、演奏会毎に客演指揮者を迎えるというシステムをとり、グリーを構成する部員の自主性を尊重していたのですが、先生は就任以来ずっと、この過去の長所である学生の自主性を強調され、本来我々の方から主張すべきことを、先生が口をすっぱくしておっしゃるのには恐縮したものでした。また先生は練習中、音楽の領域外にも非常に有益なお話をして下さり、我々も聴き入ってしまっ、気がつく練習時間をとくにオーバーしていたということもしばしばです。我々はまた、従来の指揮者に見られなかったオーケストラの棒さばきにも新鮮さを感じその学ばない曲の把握に驚嘆するのです。こうした、厳しさの中にも暖かみのある練習に大きな意義を見出し、先生と一体になって音楽を創り出す喜びを感じる時、我々は生の衝動を感じるのです。

全日本合唱連盟理事長 石井 敏

東西四大学合唱演奏会と言えば、合唱愛好家のみでなく、広い各層の人々が期待している例年の演奏会になりました。

聞けば今年や第20回演奏会を迎えるとの事ですが、今でこそ時足らずで行き来できる関西と東京の四大学が、20年間距離を超越して深い友好を保ってきたのは大変な事であったと思います。そしてこの四つの団体がそれぞれ異なった方向から音楽を追求している事を、私はすばらしい事であると常に思っております。又、非常に大切な事は、その四つの団体の方向が正しい音楽の方向に向っているという事であり、ただ単にアマチュアの合唱音楽というのではなく日本の音楽の水準を高めることの一翼を担っているという事でもあります。今後その自覚を持って大いに発展することを期待しています。



磯部 俊

第1回の演奏会の頃の現役であった20才の青年たちも、今は40才のオジサマになった。

長くつづくということは、いいことだ。この間にこの連盟の演奏会が果たした役割は大きい。しかもますますこの東西四大学演奏会がさかんになっていくのは本当によろこばしい。

飛行機や新幹線のおかげで、東と西は、ぐっと近くなった。しかし、すしの味が違うように、おでんの味が違うように、関東と関西とはそれぞれ独自のカラーがある。そこがこの演奏会の面白さであろう。

この特徴を活かし、聴衆にとってばかりでなく、東西の学生たち自らの交歓の場として一層発展してほしい。



福永 陽一郎

未来の栄光へむかって

東西四大学の会が第25回を迎えると聞いて、20年と言えば、私の合唱指揮生活のほとんど全部をカバーする年数であり、深い感激を禁じ得ません。この20年間、東西四大学の会は、いつも変えることなく、日本の合唱音楽の指針と考えられてきました。四つの合唱団の個々については、思い出してみると、万全の状態とは言にくい時もありました。けれども、いずれかの合唱団が不調の年であっても、四大学の会では必ず底力を出しきって、名前に恥じない演奏をしたものです。

ワグネルが最初からコンクールを無視しており、早稲田、同志社、関学の順で、みんな出場しなくなってしまい、四大学の会は、コンクールの外で実際の権威を競うトップ争いの場となりました。関学は、記録の上で他の追従を許さない、伝統的に承認された日本一の合唱団でしたし、ワグネルは、近年、その実力が最高であるという客観的な定評があります。それ故、この評価のさだまった合唱団より感銘の深い演奏をすること——そうしたことは、実際にしばしばおこったのですが——は、早稲田や同志社の目標になっただけでなく、勿論、関学とワグネルの間でも強烈に意識されていたわけです。

こうした競走は、誰も口に出しませんが、質問を受けたら、四大学相互の仲の良さだけが語られるでしょう。第二回のとき合同合唱を指揮して以来の証人として、私は、四つの合唱団がセッサタクマしているからこそ、日本の最高水準を聴くことができる音楽会としての四大学の会が、単なる為中行事でなく、他の類例の連盟の会からきわ立っているのだとはっきり言えます。

合同合唱の指揮者として、また、同志社グリークラブの指揮者として四大学の20年間は「私の」20年間でもありました。その名誉ある歴史は私の誇りと重なっています、過去を築いた多くの友人たちと声をあわせて、未来の栄光に対してバンザイを叫びます。

木 下 保

今回、4連が20回を迎えるにあたり、私の記憶をたどってみると、各合唱団がそれぞれの道を進み、発展して行く段階で、それぞれ交流して行こうという気運が高まり、4連が成立して、それが順調な発展をみせ、人数の点からも、又、スケールからも最大であったのが5～6年前であったと思う

現在では、各合唱団共、人数の点からはやや減少の傾向をみせているが、その音楽的水準の高さは、以前にも増して、より高い方向へと進んでいる。

この様に発展し続けている4連ではあるが、最近いささかマンネリ化して来たという批判を合唱界外部から受けている。これから学発諸君がこの4連をより先の時代へ伸ばすにも、このマンネリ化という問題を、この20回目に当り考えなければならないと思う。

しかし、その種の批判があるにせよ、20回目を無事迎えたという事は、大いに喜ぶべき事であり今後のますますの発展を期待する。



男は黙ってサッポロビール



喜びをひく
楽しさをひく
憂いをひく

あなたの心が美しい音楽を求める時
ビクトロンEO-80
ギターのように気軽にひける電子オルガンです。



■上達の近道——ビクトロン教室
5才以上ならどなたでも随時入会でき楽しくレッスンできます。
カタログ請求先 日本ビクター音楽館 八王子市石川町2969-2 〒192

ビクター
電子オルガン **ビクトロン**

EO-80s型 ¥185,000
ビクター・ローンで月々¥3,600

東と西との交流も今では、その往来に新幹線でわずか4時間余りとなり、20年前とは言わず、その頃とは、かなり様子も違ってきているわけですが、今回四連20周年を迎え、プログラム作成にあたり、四連の「あめみ」を明らかにしようという企画がたてられ、その企画のもとに、簡単ではありますが、四連20年の小史をたどってみました。

まず1952年（昭和27年）の9月に大阪産経ホールで第一回の演奏会が設けられた。その当時の早大のマネージャー・内田氏に創設時のいきさつなどを書いていただいた。——

第20回の四連演奏会おめでとう。

創設当時の事を書くようにとのこりで、いろいろ思い出し乍ら書きなぐって見ました。

そもその始りは、早大グリーが大阪に於ける昭和24年秋の全本合唱コンクールの大学の部で、又同じく関学グリーが一般の部で夫々優勝した時に四連の道が拓かれたと言えるでしょう。お互いに初めて聞く早関両校のハーモニーは、一寸と変な表現ですが、関東流の又関西流の自分達には無い表現と響きで迫り、合唱の深さをまざまざと知らされました。

そこは気軽な学生のこと、早速翌日は関学に早大が招かれ、数時間交歓を行いました。これがきっかけとなり翌25年には早大大隈講堂で第一回、翌26年には東京家政学院大講堂で第二回の早関交歓演奏会が実現しました。

又慶応の方も、昭和26年に同志社と三田に於て交歓会を開き、翌年からこれを演奏会の形に持って行く気運にありましたが、動機はやはりお互の長所を吸収し合おうことでありました。

たまたま此の26年は早大主唱になる東京六大学結成が進み、早大にとっては非常に多忙な時期でありました。六連の結成成功の見とおしがついたことは、慶応が、早関、慶同別々の交歓会を一つに出来ると言う自信になり、協力を早大に求めて来ました。六連結成に最大限に協力し合った仲でもあり、目的がより大きいことで一も二もなく賛成しスケジュールの関係で早大から慶応に全権を委任した形で、関西に於いて四連が結成されたのは28年3月のことでした。翌28年から御存知の演奏会が毎年関西・関東と交互に行われ、それが今回で20回目と言う訳で、時の流れの速さに改めて驚いている次第です。

第一回東西四大学合唱演奏会

— プ ロ グ ラ ム —

エール交歓 昭和27年9月21日（日）京 都 同 志 社 栄 光 館
9月23日（火）大 阪 経 済 会 館

- 同志社グリークラブ 指 揮 寺 本 和 市
「牡鹿の涙水をしたいて」 C. Gounod 作曲他
- 早稲田大学音楽協会グリークラブ 指 揮 坪 井 秀 夫
“Weihe des Gesang” W. A. Mozart 作曲他
- 関西学院グリークラブ 指 揮 曾 山 一 夫
“Sweet and Low” Barnly 作曲他
- 慶応義塾ワグネルソサィエティ 指 揮 田 中 孝
日本歌曲集より「婆やのお家」本居長世作曲他
- 早稲田大学音楽協会グリークラブ 指 揮 坪 井 秀 夫
Negrn Spirituals “Keep in the middle of the road” 他
- 同志社グリークラブ 指 揮 寺 本 和 市
「野ばら」Werner 作曲他
- 慶応義塾ワグネルソサィエティ 指 揮 田 中 孝
グリーク合唱曲集より「こどもの唄」作品30の2 他

8. 関西学院グリークラブ 指揮 曾 山 一 夫
Nearo Spirituals "Deep Rirer" 他
合同演奏 指揮 関西合唱連盟委員長
"Ave Maria" J. Arcadelt 作曲他 長 井 齊

第10回東西四大学合唱演奏会

昭和36年6月17日(土)・18日(日) 東京文化会館

— プ ロ グ ラ ム —

エ ー ル 交 歓

1. 早稲田大学グリークラブ 指揮 山 本 健 二
Hegar 作品集より "In den Alpen" op. 11 他
2. 関西学院グリークラブ 指揮 亀 井 征 一 郎
宗教曲 "Missa Solennelle" Albert Duhaupas 作曲
3. 同志社グリークラブ 指揮 浅 井 敬 一
男声合唱のための組曲「在りし日の歌」中原中他作詞, 多田武彦作曲
4. 慶応義塾ワグネル・ソサィエティー 指揮 木 下 保
"Missa Mater Potris" Josquin Des Prez 作曲
合同演奏 指揮 木 下 保
伴奏 辻 敬 夫 村 主 一 彦
「枯木と太陽の歌」 中田浩一郎作詞・石井敏作曲

上記に示したごとく、第10回演奏会から、ステージ構成が現在の様に各校一ステージと合同演奏という形になった。第10回以前の各校ステージは今から考えると、ずいぶん大変であったと想像できその当時の情熱と活力に感心するのである。

最後に、第9回東西四大学合唱演奏会に寄すという福永先生のメッセージにもありますが、この演奏会が四校の大きな年中行事の一つであるために、単なる各合唱団のレパートリーの展示に終わることのないよう創設当時のあの若々しい学生のもつ純真な情熱をもってこの毎年一回のフェスティバルが情性に終わることなく、年々前進する意欲と責任感を、ここで新たにしようではありませんか。

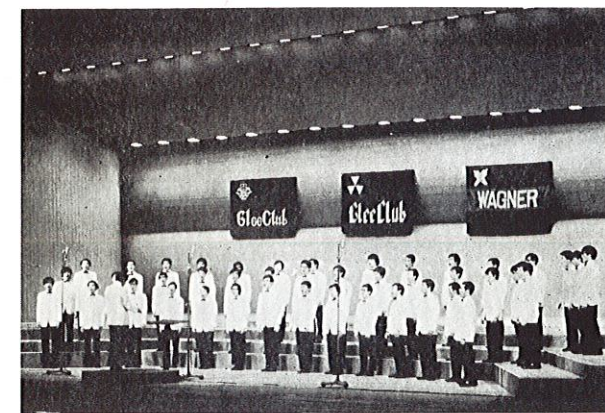
末筆ではありますが、四連小史作製に関してお世話になりました、諸先生並びに先輩諸兄に厚くお礼申し上げます。



より豊かに
より人間的に— 旭化成

ゆたかな明日を総合化学でつくる

カシミロン / ペンベルグ・レーヨン
・アセテート / ナイロン・エステル
/ 化成産 / 化 薬 / 食品発酵化学 /
建 材 / 合成ゴム / 合成樹脂



同志社グリークラブ

我クラブは、今年で創立67年を迎え、音楽追求の情熱は増々、燃え上がらんとしております。百数十名の部員を擁したあの黄金期と比べますと、現在部員約50名と小規模ですが。この東西四大学合唱演奏会では、つねに、私達の音楽を皆様に、お聞かせする為、日々練習に励んでおります。

さて、本年は、五月に京都三大学文楽演奏会、さらに四年ぶりに同・関文楽演奏会等を行い、例年とは異なったスケジュールでもって、意欲的に自からの音楽と取り組んでおります。

このように、私達が縦横に活躍できますのも、半世紀を超える輝かしい歴史と、1,000名近い先輩の伝えられた同志社グリークラブの伝統が、その背景にあればこそであり、内田栄一、大中正二、湯浅年、山口隆俊、宅孝二、水谷央、今西善治郎の諸氏もその一人であります。

現在、福永陽一郎先生、日下部吉彦先生を指揮者としてお迎えし、大久保昭男先生をヴォイス・トレーとしてお迎えし、より高度な音楽の創造を目的にお一層前進せんと努力いたしております。

本年は大阪フィルハーモニー指揮者、宇宿允人先生を客演指揮者にお迎えし、過去、幾度かにわたり、先輩諸兄が、この演奏会でなした名演奏を想いつつ、今宵、私達の心からの音楽を、お聞かせすることができれば、これ以上の幸せはないものと思ひます。

慶応義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

リヒアルト・ワグナーを冠した我々のクラブも昨年創立70周年を向かえ、ワグネルアンである我々はその伝統を受けつぎ、新たな前進を続けるべく努力してまいりました。そこには木下保、畑中良輔両先生をはじめ、大久保昭男先生、三浦洋一先生、北村協一先生方の常に変わらぬワグネリアンに対する暖かい愛情があったからに他なりません。百名に何々とするそれぞれ部員は、それぞれ考えも違いますが、そこにおいて我々がまとまっているのは皆それぞれが音楽というものに愛情を感じているからです。そこには言葉では言い表わすことのできないものがワグネルを頂点として一人一人と糸で結びつきあっているようです。ワグネルライフの一年間は定期演奏会、東京六大学、早慶交歓演奏会、春夏の合宿及び演奏旅行、そしてこの東西四大学演奏会等数多くありますが、それらのすべてに対して最高の空間芸術を創造するべく見えぬものに向かつて前進することは我々の心に、すばらしいものをあたえてくれるようです。このように書いていますとしかめつらをした人間の集合体のようですが、実はもっと幅広い人間の集合体なのです。女子大とのハイキングになれば皆奮って参加しゲームに打ち興じたり、中国研究会、その他色々のゲームに授業の合間を縫ってかけつけるのです。そしてしっかりと気分転換をしてクラブの練習に出るという若さにあふれた毎日を送っているのです。これからもワグネリアンは音楽に対して常に新鮮な気持をもってワグネルトーンと言うものを作りあげるべく前進して行きたいと思っておりますので皆様方の遠慮ない御批判と私たちに対する変らぬ御声援をお願い致します。

※第19回東西四大学合唱演奏会実況録音盤 (キャンパス・コンサート・シリーズ)

東西四大学男声合唱

■KR-7034-5(ステレオ30cm LP 2枚組) ¥2,000

「MISSA」Aetena Christi Munera 濱田徳昭指揮 / 早稲田大学グリークラブ
Kyrie / Gloria / Credo / Sanctus / Benedictus / Agnus Dei I / Agnus Dei II
「わが歳月」 高田英生指揮 / 同志社大学グリークラブ
わが二月 / 春 / 空谷 / 葉月のお月 / 十月 / 音立てて
「男声合唱のためのコンポジションII番」 木下保指揮 / 慶応義塾ワグネルソサィエティー男声合唱団
(合唱のためのコンポジションVI番)
「NIGRO SPIRITUAL」 北村協一指揮 / 関西学院グリークラブ
Steal Away To Jesus / Listen to De Lams / Liffle David Play On Your Harp / 他

「海の構図」 北村協一指揮 / (ピアノ)笠原 進
海と蝶 / 海女礼讃 / かもめ / 神話の巨人 東西四大学合同メンバー

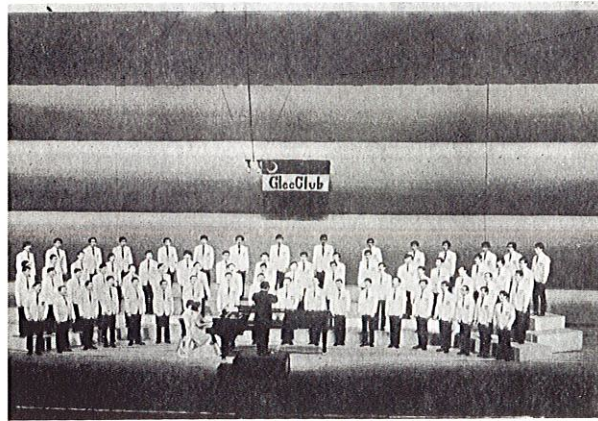
東西四大学
男声合唱

録音
場所
指揮
演奏
メンバー



キングレコード

クラブ紹介



関西学院グリークラブ

緑なす六甲の山並を背に、波静かな瀬戸内海を眼下に見下す高台、美しく静かな環境に恵まれた神戸原田の森の関西学院に、我国初の男声合唱団として、関西学院グリークラブが誕生したのは、19世紀もいよいよ最後という1899年のことでした。キリスト教精神によって建てられたこの学院には、創立当初からすでに音楽がありました。

明治29年以来、関西学院では毎年1回、英語会が催されていましたが明治32年、そのプログラムに合唱を入れようということになり、初めて正式に合唱団が組織され、当時の吉岡院長がその合唱団を「GLEE CLUB」と名付けました。これが日本の数あるグリークラブの始まりであり、我国最古の伝統を誇る関西学院グリークラブの起源であります。

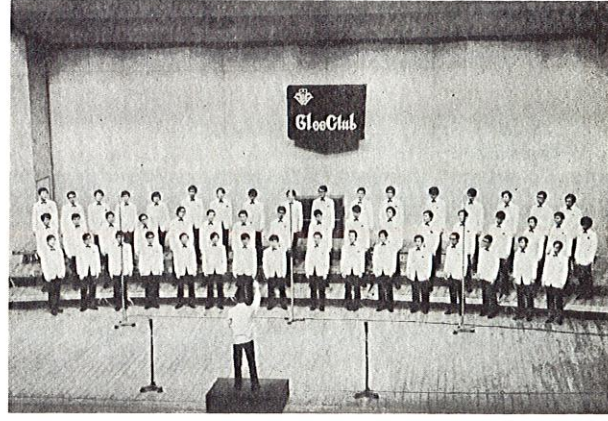
この英語会で、グリークラブとして最初に演奏した曲は、現在なお歌い続けられている College Song "Old Kwansel" でありました。

以来68年間、関西学院グリークラブは、恵まれた学院の宗教的雰囲気と、内外の温い御指導、そして、何よりも歌うことの好きな幾多の先輩達の努力によって、はぐみ育てられて参りました。

中でも山田耕、笹津川主一、由木康、林雄一郎、北村協一等の諸氏は私達の誇りとする大先輩であります。

8年前の第15回全日本合唱コンクールにおいて、我がグリークラブは戦後通算12回目、昭和35年より3年連続優勝を成し遂げ、5年前には、昭和29年に続いて、二度目の名誉ある招待演奏を行ないました。又28年3月には我国合唱会初の海外演奏旅行として、約二週間、台湾を訪問して参りました。そして40年秋にはニューヨークで開催された世界大学合唱フェスティバルに日本代表として名誉ある招待をうけ、ニューヨークの檜舞台で大成功をおさめました。又歌を通じて世界中の学生と兄弟の契りを結んだのでした。

このように関西学院グリークラブは、今や日本の関学グリーから世界の関学グリーに成長発展しつつあります。今日も又、グリー部員は、メンタルハーモニーをモットーに、より秀れた音楽を創り出そうと厳しい練習に励んでおります。



早稲田大学グリークラブ

私たち、早稲田大学グリークラブの母体は大正年間にあり、当時は小さな団体でした。それから50年、歌を愛する若ものの心は次から次へと受けつがれ、すでに卒業生は4,450余名に及び、その中には現在、音楽界で活躍を続けていらっしゃる方も数多くいらっしゃいます。

数年前一時期、グリークラブは低迷にありましたが、幸い先輩の方々の努力により、濱田徳昭先生を常任指揮者、金谷良三、田島好一両先生をヴォイス・トレーナーとしてお迎えし各先生の熱意ある御指導のもとに新しい飛躍を遂げることができました。

私たちグリークラブをささえているものは音楽に対する情熱それのみなのです。私たちはその心を大切に、クラブの主体はクラブ員一人一人であることを自覚し、常に新しい音楽の世界に向かって努力してゆくつもりです。幸い先生方も私たちの主体性を尊重して下さい下さって様々のよいアドバイスを与えて下さっています。

昨年7月には、グリークラブ初の海外遠征を行ないましたが、様々の方々の御協力に依り、西ドイツ演奏旅行、イスラエル・チムリア合唱祭参加共に大成功をおさめることができました。またさらに昨年の12月に行なわれたオーディションの結果、日本代表として来年の四月に行なわれる「第3回世界大学合唱祭」に参加することになりました。今やグリークラブはさらに大きな飛躍を遂げようとしています。

何とぞ皆様の御指導を御協力をお願い申し上げます。

音楽愛好家待望の

完全防音遮音装置の音楽堂を誇る朝霧は音楽の合宿に最適です。ことに四季を通じて快適に合宿ができると好評。冬はセントラルヒーティング全館暖房で寒さしらずです。



音楽に関する施設

1. 完全防音遮音装置のホール (18m×13m)
2. ピアノ G 1台、S 1台
オルガン 4台
3. 録音再生装置
(タンノイのスピーカー)
6月末に入る予定

合宿の予約は

TEL 026668-2014 直通
〒391-03

長野県茅野市白樺湖

ホテル朝霧

◎詳細は資料をお送りし、また出張もいたしますのでお気軽にお話し下さい。

優雅な気分で...

優雅な気分で毎日を——。
ネオウッ드의美しい色調や、
伝統的な曲げ木加工が、
ダイニングルームのイメージを変え、
優雅なムードをつくり出します。
この優雅な暮らしこそ、

ご家庭にしあわせを築くもと。
フランスベッドは、
このポリシーをもとに、
ベッド：応接セットなど、
すぐれたインテリアのすべてを、
お届けしています。

優雅さが生まれる個性派デザイン
シェルトック 7013ME型
5点セット ¥41,800

さわやかな朝・しあわせな夜

フランスベッド

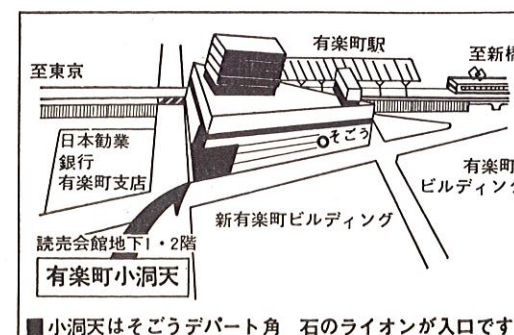
早稲田大学グリークラブ第3回世界大学合唱祭参加記念特別演奏会

BONNY JACKS & GLEE CLUB JOINT CONCERT

1971. 10. 9. (土) PM 6:30開演 神田共立講堂

入場料 A席 800円 B席 500円 C席 300円 お問合せ 早大グリー事務所

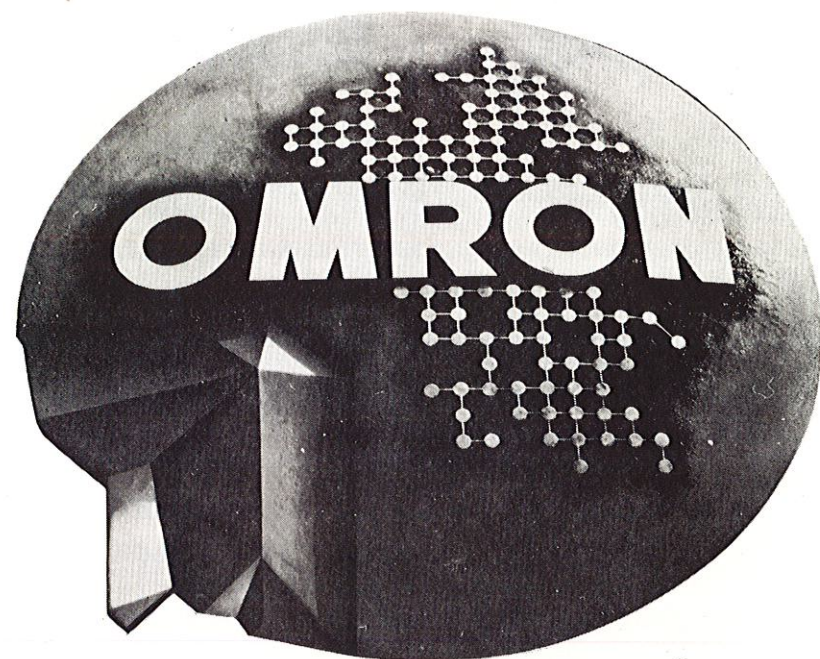
TEL 202-0903



中国料理 日本橋 小洞天
千代田区有楽町一丁の十三
読売会館(そごうデパート) 地階
入口は、そごうデパート北西角、石のラ
イオンのある処。電(213) 0056
◎紫色のじゅうたんを敷きつめ、壁は白。
豪華だが気やすく楽しめるお店、お食事
は二〇〇円より、卓料理一五〇〇円より、
前菜ほか、お料理五品、支那かゆ点心つき
三人前より。シウマイ御飯二四〇円は昼
食に最高。営業11時より21時まで。
◎本店は日本橋通一丁の四 電272 1071
(東京良い店美味しい店 昭和四十六年新春号より抜粋)

いま有楽町店の夜はゆつくりとくつろいで
お食事が楽しめます。お申付け下さい。
平野、関本がご予約を受承わっております。
電(213) 0056代

■小洞天はそごうデパート角 石のライオンが入口です



独自の技術で未来を開く OMRON

立石電機はオートメーションの機能部品をはじめ、産業用の制御装置、都市の交通を制御する電子交通制御システム、出・改札業務のすべてが自動化された無人駅システム、1枚のカードで預金、払出しができるバンキング・システムなど数々の新商品を開発し新しい社会づくりに奉仕しています。



立石電機株式会社

本社：京都市右京区花園土堂町10
TEL 075 (463) 1161 大代

祝 創立20周年記念 東西四大学合唱演奏会

飯島舞台写真研究所 代表 飯島 篤

東京都渋谷区神泉7-2
TEL 461-2327, 462-1890



『涼しさ』と『白』の魅力をお届けします

ワコール夏の新製品発表

ファンデーションはメッシュや柄パワーネットの軽やか素材、ナイティやランジェリーはコットン中心の爽やか素材。シンプルで優しいデザインに生かしてまいっせい発表です。夏を涼しく軽快に…ワコールの『白』いファッションで美しく装いましょう。

『白』を生かした新製品……たとえば

サマーブラジャー……………800円から
サマーガードル……………1600円から
フィットラインスリッパ……………1300円から
ツインジェリー……………1800円から
パーソナルウエア……………1500円から

Wacoal®
ワコール

お近くのデパートや専門店(ワコールコーナー)をご覧ください。